

## 2. 発達に応じたかかわり（1） 0歳児

### ○乳児期の音楽表現に関する発達（ \_\_\_\_\_ 声を出すことを喜ぶ頃）

- 2～3か月頃：「あーうー」という柔らかい喃語が出始め、徐々に他の声も出せるようになる。語りかけたり歌いかけたりする大人（主に母親）の口元をじっと見て声を出そうとする
- 6か月頃：「ピー」という単純な音による周波数の聴き分けや、音の強さ（大きさ）の聴き分けでは、成人並みの聴力を発揮する。  
乳幼児期は、 \_\_\_\_\_ より \_\_\_\_\_ が識別しやすい。
- 6か月頃：両手に持っているものを打ち合わせたり、音の出るおもちゃや楽器を鳴らす。
- 12か月頃：「マンマ」などの発語が見られる。大人の歌いかけに反応し、声や動きを合わせて楽しむ。
- \_\_\_\_\_（必要のない音を聞き流せない）が難しい。

※カクテルパーティ効果が働かない

### 保育所保育指針第2章1. 乳児保育にかかわるねらい及び内容（第2章保育の内容）

#### ○乳児保育の3つの視点 ※なぜ「領域」ではなく3つの視点か

乳児初期は、感情や物事が自分の中にあるものなのか、外にあるものなのかあいまいな状態から発達していく内外未分化（自他融合）の状態から、人やモノと関りながら「自分」というものを獲得していく。そのため、5領域に分化される前の段階として、3つの視点でねらいを定めている。

#### ○乳児保育のねらいと内容（抜粋）

#### イ 身近な人と気持ちが通じ合う（社会的発達に関する視点）

内容②体の動きや表情、発声、喃語等を優しく受け止めてもらい、保育士等とのやり取りを楽しむ。

内容④保育士等による \_\_\_\_\_、発声や喃語等への応答を通じて、言葉の理解や発語の意欲が育つ。

9ヶ月頃に \_\_\_\_\_（Pointing）が見られる。

※三項関係の成立 → \_\_\_\_\_ の出現



三項関係の図

#### ウ 身近なものに関わり感性が育つ（精神的発達に関する視点）

内容②生活や遊びの中で様々なものに触れ、 \_\_\_\_\_ などに気付き、感覚の働きを豊かにする。

内容⑤ 保育士等の \_\_\_\_\_ に機嫌よく応じたり、 \_\_\_\_\_ に合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。

#### ○ \_\_\_\_\_（Infant Directed Speech）テキスト p.91

母親と赤ちゃんの間に現れる特徴的な音声表現を指す。優しくイントネーション豊かな声

→愛着の形成、情動の発達、言葉の獲得など

#### ○乳児と楽しめるわらべうた遊び・あやし遊び